

度重なる浸水被害に対して、重点的な治水対策を実施

度重なる浸水被害に対して、平成29年度から、加古川中流部の加東市滝野地区を緊急対策特定区間*に設定し、重点的に築堤や河道掘削を実施します。この対策により、当該地区の浸水被害の早期軽減を図るとともに、浸水常襲地域のまちづくりなど地域の活性化を支援します。

※「緊急対策特定区間」は、改修効果が極めて高い区間について、重点投資を行うことにより、早期に事業効果を発揮させることを目的として設定。

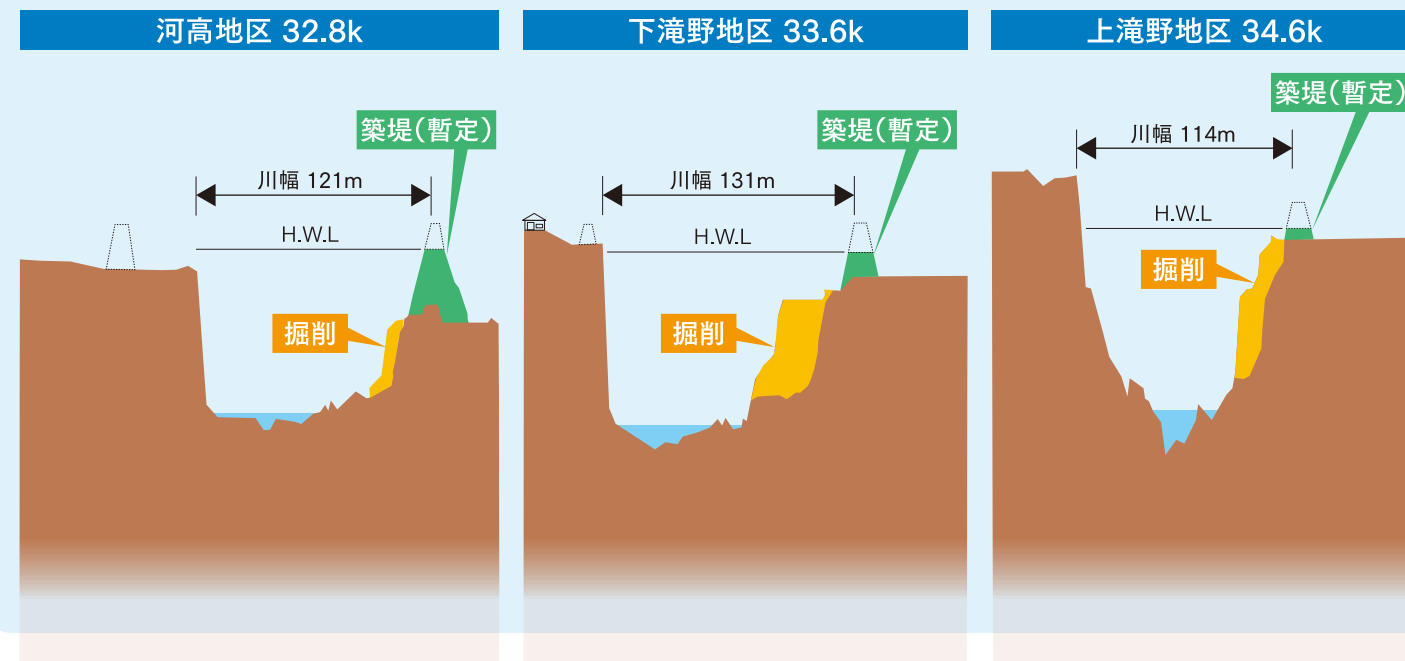
加古川中流部 緊急治水対策 整備内容

加古川水系河川整備計画に位置付けられている加東市滝野地区(河高・下滝野・上滝野地区)を緊急対策特定区間*に設定し、今後概ね10年間で、平成16年洪水(台風第23号)と同規模の洪水に対する浸水被害の早期軽減を図ります。このうち、特に近年浸水頻度が高い河高・下滝野地区については、今後概ね5年間で早期の浸水被害軽減を図るとともに、滝野地区全体の用地取得を完了します。



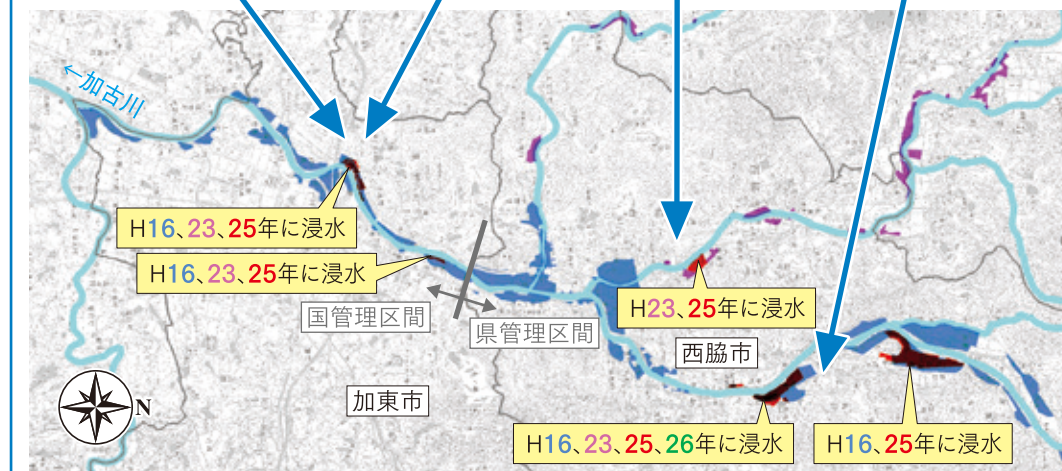
- 整備区間**
中国自動車道加古川橋梁(兵庫県加東市河高地先)から
関竜灘付近(兵庫県加東市上滝野地先)まで
- 事業期間**
平成29年度から概ね10年間
- 実施内容**
・築堤/約2.7km
・河道掘削/約9万m³
・橋梁改築/1橋 等

イメージ図



加古川中流部沿川で発生した度重なる浸水被害

平成16年10月20日に上陸した台風23号は、加古川流域で流域平均雨量225mm(国包上流域)の降雨をもたらし、西脇市域・加東市域では浸水面積534ha、浸水家屋618戸に及ぶ甚大な被害が発生しました。その後、平成16年～22年に実施した緊急的な治水対策後も平成23年、25年、26年と続けて浸水被害が発生しました。



年	加東市域	西脇市域
平成16年	0	1
浸水面積(ha)	110	424
建物被害 床上浸水(戸)	69	126
床上浸水(戸)	106	317
平成23年	0	0
浸水面積(ha)	9	不明
建物被害 床上浸水(戸)	3	20
床上浸水(戸)	2	113
平成25年	0	0
浸水面積(ha)	10	不明
建物被害 床上浸水(戸)	3	5
床上浸水(戸)	2	31
平成26年	0	0
浸水面積(ha)	0	不明
建物被害 床上浸水(戸)	0	0
床上浸水(戸)	0	2

- 凡例
- 平成16年浸水範囲
 - 平成23年浸水範囲
 - 平成25年浸水範囲
 - 平成26年浸水範囲